

全鉄連流通動態調査結果表 2022年9月分

(2022.10.26)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	6,934	97.3%	37,449	111.2%	37,656	111.2%	6,727	97.0%	
	大阪	1,923	82.0%	17,504	107.1%	17,639	105.3%	1,788	93.0%	
	愛知	4,548	98.7%	3,684	115.6%	3,780	116.3%	4,452	97.9%	
	計	13,405	95.2%	58,637	110.2%	59,075	109.6%	12,967	96.7%	
形 鋼	山 形 鋼	東京	17,347	98.9%	7,527	105.7%	8,078	110.6%	16,796	96.8%
		大阪	22,494	99.4%	7,011	103.5%	8,191	118.5%	21,314	94.8%
		愛知	7,665	90.1%	3,421	106.4%	4,321	106.4%	6,765	88.3%
		計	47,506	97.6%	17,959	105.0%	20,590	112.6%	44,875	94.5%
	溝 形 鋼	東京	15,450	103.6%	5,555	99.6%	5,951	118.1%	15,054	97.4%
		大阪	12,759	98.4%	5,221	114.5%	5,232	109.7%	12,748	99.9%
		愛知	4,773	83.9%	3,474	160.8%	3,563	115.8%	4,684	98.1%
		計	32,982	98.3%	14,250	115.8%	14,746	114.5%	32,486	98.5%
	H 形 鋼	東京	35,819	102.5%	19,395	116.2%	19,337	122.4%	35,877	100.2%
		大阪	45,609	100.9%	24,166	100.1%	23,569	99.3%	46,206	101.3%
		愛知	15,673	87.9%	11,297	127.6%	12,469	113.2%	14,501	92.5%
		計	97,101	99.1%	54,858	110.4%	55,375	109.6%	96,584	99.5%
合 計		177,589	98.6%	87,067	110.1%	90,711	111.0%	173,945	97.9%	
コ ラ ム	東京	8,507	104.8%	3,444	139.0%	3,271	156.4%	8,680	102.0%	
	大阪	14,683	103.3%	3,867	98.1%	4,002	115.4%	14,548	99.1%	
	愛知	1,542	97.3%	1,353	117.4%	1,364	114.1%	1,531	99.3%	
	計	24,732	103.4%	8,664	114.5%	8,637	127.9%	24,759	100.1%	
軽 量 C 形 鋼	東京	4,644	96.0%	2,033	121.7%	2,117	113.5%	4,560	98.2%	
	大阪	3,769	96.8%	1,659	113.9%	1,724	109.1%	3,704	98.3%	
	愛知	3,505	100.4%	1,046	88.5%	1,295	110.9%	3,256	92.9%	
	計	11,918	97.5%	4,738	109.9%	5,136	111.3%	11,520	96.7%	
総 計		227,644	98.8%	159,106	110.3%	163,559	111.3%	223,191	98.0%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪18 愛知12 合計60社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。